

今日の朝日新聞の天声人語は、「かの万有引力の法則は、自肅生活から生まれた。」という書き出しでした。“えっ、どういうこと？”と興味を持って読んでみると、「英国でペストが猛威をふるった 17 世紀、若きニュートンはロンドンを離れて郷里の村へ避難。わずか 1 年半の間に、引力のほか微積分と光学という画期的な発見をする」と書かれていました。初めて知りました。「自肅中のニュートンは昼間、農場の納屋にこもった。穴から差し込む陽光は白いのに、壁に映るのが七色なのはなぜだろう。考え抜いた末、光の正体は屈折率の異なる線だと発見する。(中略)ペストが去ったあと、大学に戻って研究に打ち込むが、大発見はなかった。」と書いてありました。

今のこのような状況の中での発見だったのです。たしかに今、たつぷりと時間があります。学校に行かない、友達と会わないので、家で一人じっくりと考える時間があります。皆さんどんな生活をしているのでしょうか。ただボーっとして過ごしている人はいないでしょう。もしかしたら、学校から出された課題に追われる日々かもしれません。

私は以前よりも本をじっくりと読むようになりました。これまでは本を早くたくさん読むことをよしとしていましたが、今はじっくり考えながら読むようにしています。そして自分とじっくりと向き合う時間が作れるようになりました。

自肅生活が長引くと、何かできることはないかと考える人と、ただ終わるのを待って、何となく過ごしている人に分かれるのではないかと思います。

せつかく自由になる時間がたつぷりあるのだから、新しい自分を発見してほしいですね。この自由な時間もそろそろ終わりが見えてきました。あとひと頑張りですよ。

明日 23 日は新月です。新月は願い事をすることはもちろんのこと、新しいことを始めるのによい時です。何か始めてみましょうか。

七中生へのメッセージ（4月21日）

こんにちは。1年2組担任です。4月24日の問題に挑戦してくれたかな。今回は、答え合わせです。答えは…、

59分

です。よく考えれば当たり前ですね。だって、1分経つごとに分裂するわけですから、1分後には2匹いるわけです。この問題では、2匹でスタートするので、1分短くなります。だから59分というわけです。2匹いるから2倍速くなるわけではありませんね。

さて、今回はおススメの映画をご紹介します。ステイホームで時間を持て余したら見てみたらどうでしょうか。本もあるので、映画でも本でもどちらで見てもよいと思いますよ。

「博士の愛した数式」 小川洋子 著

ちなみに数式という言葉だけで、え～、と思ったそこのあなた！
ちがいますよ～。数学のお話ではないですよ。少し泣けるお話です。

小川洋子！まさか！先生が著者…、と思ったそこのあなた！
ふんふん……。それは秘密です。

感想を800文字で書いて、数学の授業で提出です、なんてことは言わないのでご安心を。

もう少ししたら、あともう少し我慢したら、学校が再開できると信じて、楽しみに待っている今日この頃です。

（1）年（2組担任）

こんにちは。火曜日には、皆さんの元気な顔を見ることができて安心しました。引き続き、体調に気をつけて、それぞれに頑張れることに取り組んでいきましょう。

先日、新聞を読んでいたら、「都内のごみ問題に迫る」というコーナーがあり、ごみ収集に関係した本の紹介がありました。作者は、滝沢秀一さん。お笑い芸人として活動しながら、定収を得るために清掃作業員の仕事もしているそうです。皆さんは、「ごみの3R」って知っていますか？3年生の英語の教科書にこれから出てくるのですが、Reduce（減らす）、Reuse（再利用する）、Recycle（再生処理する）の3Rです。この作者は、記事の中でRespect（敬意）も加えて「4R」にしたらいいと思っていると言っていました。「食品でも何でも、作った人を考え、敬意を持てば簡単には捨てられない。買う前に捨てる時のことを考えるのではないのでしょうか。」ということからです。なるほど、いい考えだなと思いました。この記事をきっかけに、紹介されていた「ゴミ清掃員の日常」（講談社）を読んでみました。エッセイまんがになっていて、とても面白く、読みやすいです。ごみの知識について楽しく勉強できますよ。そして、なるべくごみを出さないようにしなきゃ！という気持ちになれる本です。おススメですよ☆

3年副担任・1～3年英語担当より